

## 第 1 1 8 4 回教育委員会会議録

1 日 時 令和 6 年 1 0 月 2 8 日 ( 月 ) 午後 4 時 0 0 分～午後 4 時 5 6 分

2 場 所 教育委員会室  
森下委員、横井委員は W e b 会議により出席

3 出席者 藤丸教育長 原委員 山本委員 森下委員 横井委員  
松下学校教育監 廣部副部長  
山本副部長(高校教育)  
廣瀬教育政策課長 遠藤教職員課長 岡本義務教育課長  
志尾生涯学習・文化財課長補佐 松枝保健体育課長

4 議 題

議題なし

5 審議事項

( 1 ) 開会宣告 午後 4 時 0 0 分

( 2 ) 会議録署名人の指名 山本委員 森下委員

( 3 ) 議事要録

教育長 本日の協議報告事項 3 から 5 については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨発議

—————当該議案を非公開と決する—————

◎協議・報告事項

( 1 ) 教育に関する大綱の策定について

森下委員 ライフデザイン教育とは具体的にどのような教育か。

教育政策課長 自らの将来、生き方を考える機会を提供するという幅広いものである。将来どのような生き方をしていくのかを子ども一人一人が考えていくような教育をしていきたい。また、県内で活躍する地元の O B と交流する機会を拡充し、ライフデザイン講座等を開催するなど、将来、県内で活躍をしていくという選択肢を示すことができればよい。このことにより、 U ターンを含めた地元就職、地元進学意識を高めていきたいと考えている。

森下委員 小学校の段階から、福井県で夢を実現したいと思える、魅力的な目玉となるものがあるとよい。

原委員 大綱の理念、概要、ともに充分理解できる。だが、具体的な施策について、どのような目指す姿があり、今後どのように教育が変化していくのか、一般市民や保護者にうまく伝える方法はないものかと懸念している。

現場では、様々な取り組みがある。例えば、授業の変化、教員と地域の関係性の変化など、具体的なイメージが上手く出せるようになると一般市民や保護者の理解につながる。

教育政策課長 HP掲載など幅広く、保護者等も含めた県民の皆様の知っていただけるように広報等に努めてまいりたい。

## (2) 夜間中学シンポジウムについて

森下委員 何人ぐらいの方が申し込みをしているのか。また、具体的に学校生活をイメージできるような工夫はしているのか。

義務教育課長 今現在で、約35名。具体的に、学校の様子を知っていただくために徳島県のしらすぎ中学校で撮影したビデオを見ていただく予定。

横井委員 シンポジウムへの申し込みやニーズ調査の回答から、夜間中学に関心を持っている人の年代や地域の傾向は把握しているのか。

義務教育課長 ニーズ調査では10代から70代の回答があった。シンポジウムの申込者は、本人や知人、学校関係者、他県から視察に来る方がいる。

横井委員 シンポジウム来場者のなかで、本人が夜間中学に興味がある方が何人いるのかは把握した方がよい。夜間中学がスタートするときに、生徒数が少ないとさびしいものになってしまうと思うため、ある程度の生徒数がいた方がよい。そのためには、入学者を集める必要がある。現時点で夜間中学に興味のある人を分析し、チラシを配ったり、協力を要請したりするのが良いのではないか。

義務教育課長 アンケートに回答いただいた全員の方にご連絡させてもらったが、シンポジウムに来る予定の方は3名。今後、体験入学等を、様々な地区で開催し、希望者を集めていきたい。

## (3) 夜間中学校名募集について

## (4) 文部科学大臣表彰の推薦について

## (5) 登録有形文化財（建造物）の新登録について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後4時56分